

# コロナと福音

シリーズ～福音の力～

2020/05/24

## ルカによる福音書12章1～7節

とかくするうちに、数えきれないほどの群衆が集まって来て、足を踏み合うほどになった。イエスは、まず弟子たちに話し始められた。「ファリサイ派の人々のパン種に注意しなさい。それは偽善である。覆われているもので現されないものではなく、隠されているもので知られずに済むものはない。だから、あなたがたが暗闇で言ったことはみな、明るみで聞かれ、奥の間で耳にささやいたことは、屋根の上で言い広められる。」

「友人であるあなたがたに言うておく。体を殺しても、その後、それ以上何もできない者どもを恐れてはならない。だれを恐れるべきか、教えよう。それは、殺した後で、地獄に投げ込む権威を持っている方だ。そうだ。言うておくが、この方を恐れなさい。五羽の雀が二アサリオンで売られているのではないか。だが、その一羽さえ、神がお忘れになるようなことはない。それどころか、あなたがたの髪の毛までも一本残らず数えられている。恐れるな。あなたがたは、たくさんの雀よりもはるかにまさっている。」

# コロナウイルスが奪ったもの

## ● 集まること

### □ 「教会」とは「集まる場所」

- ・「毎日ひたすら心を一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。」使徒2:46-47

### □ 安息日は「集会の日」

- ・「イスラエルの人々に告げなさい。第七の月の一日は安息の日として守り、角笛を吹き鳴らして記念し、聖なる集会の日としなさい。」レビ23:24



# コロナウイルスが奪ったもの

- 声を合わせて賛美すること

- 集まって賛美することの意義

- ・「ハレルヤ。新しい歌を主に向かって歌え。主の慈しみに生きる人の集いで賛美の歌をうたえ。」詩編149:1

- 超えたからかに賛美する


- ・「祭司らには、救いを衣としてまとわせる。わたしの慈しみに生きる人は／喜びの叫びを高くあげるであろう。」詩編123:16

- 聖餐の恵み

- ・「一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えながら言われた。」マタイ26:26 <一人でするものではない

# コロナウイルスが教えたこと

- **手洗い・うがい・マスク > 資料**
  - 日本は感染者も死亡者も他の国に比べて極端に少なく「日本の奇跡」と言われている
- **人間の体の弱さ(もろさ)**
  - 一万分の一ミリのウィルスが命を奪う
- **人間の無力さ**
  - 科学万能の時代にあって、偶然発生したウィルスをコントロールすることができない
- **死の近さ**
  - 毎日報告される感染者数と死亡者数におびえる



# 手洗いの時間・回数による効果

手洗いの方法	残存ウイルス数 (残存率)*
手洗いなし	約1,000,000個
流水で15秒手洗い	約10,000個 (約1%)
ハンドソープで10秒または30秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数百個 (約0.01%)
ハンドソープで60秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	数十個 (約0.001%)
ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎを2回繰り返す	約数个 (約0.0001%)

\*:手洗いなしと比較した場合

出典

森功次他:感染症学雑誌、80:496-500,2006

<http://journal.kansensho.or.jp/Disp?pdf=0800050496.pdf>



# コロナウイルスが教えたこと

- 私たちは自分の人生の支配者ではない
  - 常に思ったとおり、願ったとおりに人生は進まない
  - 自分ではどうしようもないことが起こる
  - 「人の一步一步を定めるのは主である。人は自らの道について何を理解していようか。」箴言20:24
- 私たちには神様の助けが常に必要である
  - 人生の本当の支配者である神様を見上げ続けていなければならない
  - 「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けはどこから来るのか。わたしの助けは来る／天地を造られた主のもとから。」詩編121:1-2



## トランプ大統領の祈り（受難日）



# トランプ大統領の祈り(イースター)

- この受難日に、全世界のクリスチャンは、われわれの救い主である主イエス・キリストの十字架上の苦しみと死を覚えます。そしてイースターの日曜日には、その栄光ある復活を祝います。
- この聖なる時に、われわれの国はいまだかつてない戦いに挑んでいます。見えない敵とです。勇敢な医師、看護師、初期対応者を含め、これに対応するすべての人々は命を救うために戦っています。労働者は重要な医療物資を届けるために奔走しています。最高の科学者たちが治療法を開発するために昼夜働いています。皆、本当によくやっていると思います。パンデミックを終わらせるため、人々が非常な犠牲を払っています。
- 私たちは、いつものようにイースターに集まることはできませんが、私たちはこの聖なる時を用いて、祈り、黙想、神との個人的な関係を育むことに集中することができます。非常に重要なことです。私はすべての米国人に呼びかけます。神に祈ってください。私たちの国を癒やしてくださいと。深い嘆きの中にある人に慰めが与えられますように。医師、看護師、医療従事者が強められますように。病を負った人が健やかになりますように。苦難の中にあるすべての人たちの希望が新しくされますように。私たちの国が、かつてないほどにこれを乗り越えることができますように。



# コロナウイルスよりも恐ろしいこと

- **人の心を蝕む高慢と偽善**

- 「高ぶりは破滅に先立ち、心の高慢は倒れに先立つ」箴言16:18新改訳
- 「ファリサイ派の人々のパン種に注意なさい。それは偽善である。」ルカ12:1

- **本当に恐れるべき方**

- 「体を殺しても、その後、それ以上何もできない者どもを恐れてはならない。だれを恐れるべきか、教えよう。それは、殺した後で、地獄に投げ込む権威を持っている方だ。そうだ。言っておくが、この方を恐れなさい。」ルカ12:4-5



# 永遠の命のためのワクチン＝福音

- 今世界が最も願っているのはコロナウイルスに対するワクチンである
  - コロナのワクチンができて、また新たなウイルスが発生する
- どんな伝染病に対しても有効なワクチンは福音である
  - 「わたしは福音を恥としない。福音は、ユダヤ人をはじめ、ギリシア人にも、**信じる者すべてに救いをもたらす神の力**だからです。」ローマ1:16

## 主の目はあなたに注がれている！

「五羽の雀が二アサリオンで売られている  
ではないか。だが、その一羽さえ、神がお  
忘れになるようなことはない。それどころか、  
あなたがたの髪の毛までも一本残らず数  
えられている。恐れるな。あなたがたは、  
たくさんの雀よりもはるかにまさってい  
る。」ルカ12:6-7